

スマートファクトリー実現に向けて スモールスタートで一步踏み出そう

「スマートファクトリー伴走支援事業」プレセミナー

参加費
無料

栃木県は、日本最大級のナレッジプラットフォームを運用する株式会社ビザスクと連携し、県内ものづくり企業の生産性向上等による経営基盤の強化や高付加価値化の実現等による競争力強化を目的として、AI等未来技術（AI・IoT・ロボット）等に関し知見を有する専門家による伴走支援を行うことで企業のスマートファクトリー化を推進し、生産性向上と高付加価値化等の支援を実施します。

セミナー参加対象

「スマートファクトリー伴走支援事業」プレセミナーを視聴された県内中小企業のうち、伴走支援を希望する企業の中から、アンケート及びヒアリング結果に基づき、3社程度を選定します。

以下のような、課題・関心をお持ちの方は、ぜひ本セミナーにご参加ください。

? 工場のDX/スマートファクトリー化を進めたいけど、どこから手をつけたいかわからない。

スマートファクトリー化のアイデアはあるけどリソースがなく実施できない。

Q 製造現場へのAI・IoT・ロボット等の導入方法や、成功事例について調査している。

プレセミナー詳細

日程 2024年7月30日（火）15:00~16:30

実施方法 栃木県産業技術センター 多目的ホール（栃木県宇都宮市ゆいの杜1丁目5番20号）
+ライブ配信（Zoom）によるハイブリッド開催

登壇者



古賀 康隆 氏

東北大学工学部卒。神戸大学大学院博士課程後期課程卒 博士（工学）。総合電機メーカ生産技術研究所に34年間勤務し、設備ファームウェア、生産実行システム（MES）、ERP、グローバルSCMシステム等の開発および導入を担当し、同時に国内外関係工場の問題解決に従事。定年退職後フリーランスアドバイザーとして中小企業の問題解決伴走支援に従事。その間、日本各地域の中小企業支援機関で、アドバイザー/専門家として多くの中小企業支援を行う。また、2015年から一般社団法人インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブに所属し、現在は技術統括顧問。日本機械学会会員。

内容 継続的なスモールスタートがスマートファクトリー実現に不可欠です。
スマートファクトリー実現に必要な3つの力と、それらを推進するための事例や具体的な手法をご紹介します、これからの第一歩を後押しさせていただきます。

参加申込方法 右記のQRコード、もしくは以下の特設ページからお申し込みをお願いします。
<https://public-visasq.com/2024-tochigi-smartfactory>
※原則として本プレセミナーの聴講が、スマートファクトリー伴走支援事業への参加要件となります。



主催・問い合わせ

株式会社ビザスク 法人事業 事業開発本部 Growth部
E-mail: taishi.manabe@visasq.com（担当：真鍋）
電話：080-3553-7794

栃木県 産業労働観光部 工業振興課
電話：028-623-3192

スマートファクトリー伴走支援事業

支援対象企業

スマートファクトリー伴走支援事業プレセミナー（表面参照）を視聴された県内企業のうち、伴走支援を希望する企業の中から、アンケート及びヒアリング結果に基づき、3社程度を選定します。

スマートファクトリー伴走支援事業への参加申し込みはこちら

<https://public-visasq.com/2024-tochigi-smartfactory>



事業の流れ



1. セミナー実施によるスマートファクトリー推進に向けたインプット及び課題の整理

なぜ今スマートファクトリーの推進が必要とされているのか、ものづくり企業がスマートファクトリーを推進する上での課題や人材戦略について理解することで、今後の経営戦略及び事業拡大のヒントを得ていただければと思います。



2. 参加希望企業への課題ヒアリングによる最適な外部専門家のマッチング

60万人を超えるビザスクの専門家データベースより、参加希望企業の経営課題やニーズにマッチした最適な専門家をマッチングします。アンケート及びヒアリング結果に基づき、支援対象企業を3社程度選定させていただきます。



3. 約3ヶ月間に渡る外部専門家のスマートファクトリー伴走支援（2024年10月から12月までを予定）

対象となる企業は「費用負担なく」外部専門家の支援を受けることができます。伴走支援の期間を通じて、自らが今後どのようにスマートファクトリーの推進について取り組むべきか、を体験していただき、今後の本格的な自社の取り組みに活かしていただくことができます。



4. 成果発表実施による事例共有（2025年2月実施予定）

3ヶ月間のスマートファクトリー伴走支援に参加した企業が、「どんな課題に対して」「どんな施策を実行し」「結果どうだったか」を発表し、参加企業全体で共有することで、他社での取り組みについての知見を得ることができます。

※スマートファクトリー実証モデル事業補助金交付決定企業による成果発表も予定しています。

株式会社ビザスクについて

「知見と、挑戦をつなぐ」をミッションに、世界190カ国60万人超（2024年2月末時点）の知見をつなぐナレッジプラットフォームを運営。戦略立案や新規事業開発、DX、組織開発等、様々な場面における、業界トレンドや顧客ニーズ、先行事例の情報収集手段として、エキスパートとのインタビューやオンラインアンケートを提供する他、業務委託型の実働型伴走支援や研修講師等のマッチングを手がける。

スケジュール

※スケジュールは現時点での予定であり、変更する可能性があります。

2024年7月30日	プレセミナー（詳細は表面）
2024年7月4日 - 8月5日	スマートファクトリー伴走支援事業の希望受付
2024年8月9日頃	スマートファクトリー伴走支援対象企業の決定（最大3社を想定）
2024年8月中旬 - 9月30日	対象企業を支援する外部専門家の決定
2024年10月1日 - 12月31日	スマートファクトリー伴走支援開始
2025年1月中旬	成果発表会準備
2025年2月	成果発表会